

## 3・4 アジア船主フォーラム

### 3・4・1 アジア船主フォーラム総会

第 19 回アジア船主フォーラム(ASF)総会は香港船主協会の主催により、平成 22(2010)年 5 月 25 日に香港で開催された。同総会には、アジア 8 地域、13 船協(日本、韓国、中国、台湾、香港、ASEAN(インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム)、豪州、インド)から 140 名強の代表が出席し、当協会からは宮原会長をはじめ 19 名の代表が参加した(【資料 3-4-1-1】)。

ASF は 1992 年に第 1 回会合を当協会主催で開催して以来、メンバー国／地域の船主協会が北から南の順で議長および開催地を回り持ちしながら毎年開催しており、毎年の年次総会の間に 5 つの常任委員会(船員、 SHIPPING・エコノミクス・レビュー、船舶保険・法務、航行安全・環境、シップ・リサイクリング)が夫々中間会合を開催している。5 つの常任委員会の構成および各委員会への当協会代表は【資料 3-4-1-2】の通りである。

第 19 回 ASF 総会全体会合では、冒頭 Kenneth Koo 香港船主協会会長(第 19 回 ASF 総会議長)、香港運輸当局\*による挨拶が行われた後、平成 22(2010)年 1 月 1 日から ASF 事務局長として実質的に活動している園田裕一氏(元当協会常務理事)による挨拶が行われ、本総会の場で、同氏の事務局長就任が正式に承認された。その後、各常任委員会の委員長から 1 年間の主な活動報告があった。

\*Mr Francis Ho, Permanent Secretary, Transport, the Government of the HKSAR

上記会合終了後にはプレスリリース(【資料 3-4-1-3】参照)を採択し、その中で、商船に対する継続的な海賊襲撃に強い懸念を表明するとともに、各国の海軍に対し、アデン湾および西インド洋を航行する船舶の護衛を強化するよう求めた他、平成 22(2010)年 4 月に公表されたパナマ運河岸の通航料値上げ提案については、同運河岸に対し、今この時期に同運河通航料の値上げを行う明白な必要性を見直すよう求めた。

次回第 20 回総会は、平成 23(2011)年 5 月に ASEAN 船主協会連合の主催により、インドネシア・バリ島で開催される予定である。

### 3・4・2 委員会における検討状況

#### (1) SERC ( SHIPPING・エコノミクス・レビュー委員会)中間会合

SHIPPING・エコノミクス・レビュー委員会(Shipping Economics Review Committee:SERC、当協会企画部が事務局)は、2010(平成 22)年 11 月 30 日に沖縄で第 23 回中間会合を開催し、ASF メンバ一船協から 5 カ国／地域の代表 24 名が出席した。

同会合では、工藤委員長(当協会常務理事)が議長を務め、太平洋およびアジア域内コンテナ航路の需給見通し、ドライバルク／タンカーの市況動向のほか、独占禁止法適用除外問題、国際財務報告基準(IFRS)問題等について、率直かつ活発な意見交換を行った後、了解事項

(【資料 3-4-2-1】参照)を採択した(出席者は【資料 3-4-2-2】参照)。

#### (2) SC(船員委員会)中間会合

船員委員会(Seafarers Committee:SC)は平成22(2010)年10月22日に中国・青島で第16回中間会合を開催した。同会合では、中国、台湾、香港、日本、韓国、アセアンの各船協が出席し、Li Shan-min(中国船協)委員長の下、ソマリア海賊問題、ILO最低賃金、改正STCW条約などの船員関連問題について議論がなされた。

#### (3) SILC(船舶保険・法務委員会)中間会合

船舶保険・法務委員会(Ship Insurance and Liability Committee:SILC)は中間会合を以下の通り開催し、ロッテルダム・ルール、中国の「船舶による海洋汚染防止及び管理規則」、イランへの石油精製品の輸出に対する米国制裁、船員に対する公平な取り扱いに係る問題など、海事関連規則・条約等に関する審議および意見交換が行われた。

第 15 回中間会合 (平成 22(2010)年 4 月 13 日 於:香港)

委員長:Mr George Chao(香港船協)

(中国、台湾、香港、日本、インドネシア、マレーシア、シンガポールの各船協が出席)

第 16 回中間会合 (平成 23(2011)年 3 月 22 日 於:香港)

委員長代理:Mr Robert A. Ho(香港船協)

(アジア各国の船主協会が出席)

#### (4) SNEC(航行安全・環境委員会)中間会合

航行安全・環境委員会(Safe Navigation and Environment Committee:SNEC)は中間会合を以下の通り開催し、S. S. Teo(シンガポール船協)委員長の下、アデン湾における海賊問題や温室効果ガス削減問題など、船舶の航行安全および環境保全に関する多くの案件について審議した。第20回中間会合では、特に、ソマリア沖・アデン湾沖における海賊問題が海運事業者にとって最も切迫した課題であるとし、国連や各国政府等の海賊根絶に向けた断固とした対応を求めた。

第19回中間会合(平成22(2010)年9月17日 於シンガポール)  
(香港、インド、日本、韓国、台湾、アセアンの各船協が出席)

第20回中間会合(平成23(2011)年3月18日 於シンガポール)  
(香港、インド、台湾、アセアンの各船協が出席)

#### (5) SRC(シップリサイクルング委員会)中間会合

シップリサイクルング委員会(Ship Recycling Committee:SRC)は平成23(2011)年3月25日にベトナム・ハノイで第14回中間会合を開催し、Bronson Hsieh(台湾船協)委員長の下、シップリサイクル条約に関する諸問題や現存船インベントリの作成体制などについて意見交換が行なわれた。同会合には中国、台湾、インドネシア、マレーシア、ベトナム、香港の各船協が出席した。

### 3・4・3 ASF 会長会議

ASF 加盟船協会長で構成される「ASF 会長会議」は平成22(2010)年度中に以下の通り開催され、IMO NGO Status 問題、平成23(2011)年以降の ASF 会費徴収方法および ASF によるシンガポール中古船売買書式頒布問題等を取り上げた。

第6回会長会議(平成22(2010)年4月26日、於:シンガポール)

出席者は【資料 3-4-3-1】参照

第7回会長会議(平成22(2010)年5月24日、於:香港)

出席者は【資料 3-4-3-2】参照

第8回会長会議(平成22(2010)年11月11日 於:シンガポール)

出席者は【資料 3-4-3-3】参照